

大林組グループ中期経営計画 '12

2012年度～2014年度

「地球に優しい」リーディングカンパニー



OBAYASHI

大林組グループ中期経営計画 '12

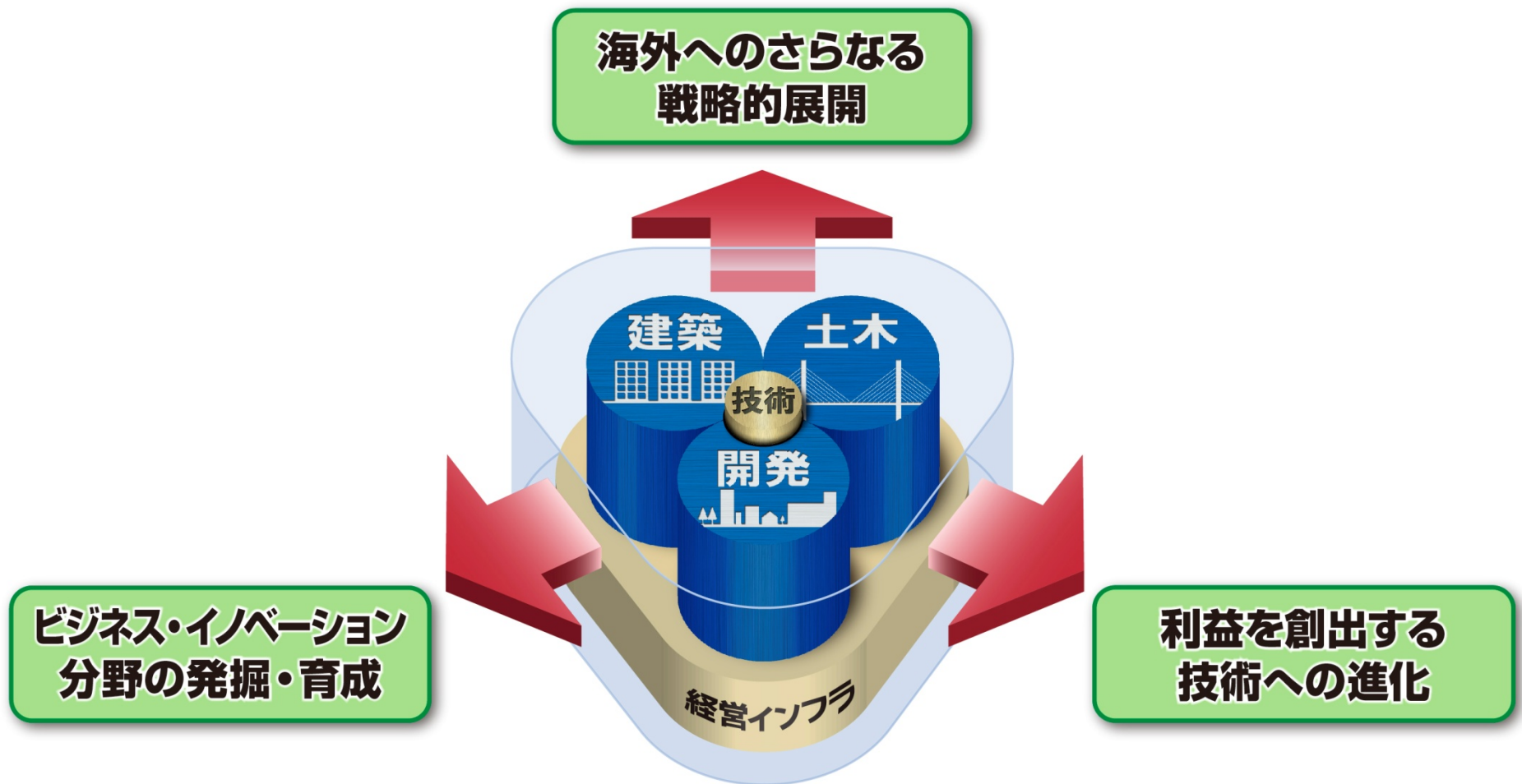
我が国経済は、財政再建問題、欧州金融危機の影響、経済成長戦略の構築に加え、東日本大震災からの復興など困難な課題が山積しています。

また、建設産業においては、国内市場の低迷、製造業を中心とした設備投資の海外シフトなど、かつて経験したことのない事業環境の変化に直面しています。

こうした状況下、当社グループが建設産業において確固たる地位を持続していくためには、新たな事業領域への進出も含めた成長戦略のスピーディーで確実な実践が不可欠です。

この度大林組は、創業121年目をスタートするにあたり、新たに「中期経営計画 '12」（3ヵ年計画）を策定しました。

大林組グループ中期経営計画 '12



基幹分野のさらなる成長に加え、収益基盤の多様化を推進し
グループとしての収益力を高めます

建築、土木、開発の基幹分野の安定的収益力を確保することはもとより、中長期的視野で収益基盤の多様化を実現するため、

■ **海外へのさらなる戦略的展開**

■ **ビジネス・イノベーション分野の発掘・育成**

■ **利益を創出する技術への進化**

を推進します

数値計画(連結)

	2011年度実績	2014年度計画 (3年後)	中長期的展望
総売上高	12,457億円	15,000億円	建設事業売上高 <p>構成比 海外 25 30% 国内 75 70%</p> <p>2014年度 →</p>
建設事業売上高	11,701億円	14,000億円	
国内	86%	80%	
海外	14%	20%	
開発事業等	756億円	900億円	
新規事業	—	100億円	300億円以上
営業利益 (利益率)	311億円 (2.5%)	450億円 (3.0%)	営業利益 <p>構成比 国内建設以外 50% 国内建設 50%</p> <p>2014年度 →</p>
国内建設 国内建設以外 (海外建設、開発、新規事業)	(66%) (34%)	(60%) (40%)	

※2009年度を除く2007
~2011年度の4力年平均

2014年度 経営指標計画(連結)

経営指標	計画値
総売上高	15,000億円
営業利益(営業利益率)	450億円(3.0%)
経常利益(経常利益率)	470億円(3.1%)
有利子負債	3,600億円以下
D/Eレシオ	0.9倍以下
株主資本利益率【ROE】	8.0%以上
配当性向	20~30%

2012～2014年度 投資計画

投資内容		2012～2014年度	計画年度平均
工事機械、事業用施設		150億円	50億円
技術開発・ICT投資		400億円	133億円
不動産投資	賃貸事業	600億円	200億円
	販売・分譲事業	150億円	50億円
計		750億円	250億円
国内外新規事業投資		200億円	67億円
合計		1,500億円	500億円

- **首都圏の受注シェアアップに向けた営業体制の強化**
- **基幹分野としての収益力強化**
- **建設需要の旺盛な地域を中心とした海外建築事業の拡大**
(重点エリア: 東南アジア、北米、中近東)



東京スカイツリー®

■ 国内事業環境の変化に合わせた収益力の強化

(社会インフラの企画・調査・設計・維持管理・更新へ)

■ 防災、減災を含む安全・安心のための社会インフラ整備への取組み強化

■ 海外土木事業の拡大と利益の安定化

(重点エリア:北米、オセアニア、中近東、東欧)



■ **賃貸事業(ストックビジネス)を主とする
安定的収益基盤の拡充**

	2014年度目標値
売上総利益額	120億円 (2011年度 75億円)
	2011年度比 60%増

■ **保有不動産の有効活用による
ポートフォリオ改善**

(再生可能エネルギー事業、分譲事業)

■ **建設分野との連携による収益力の向上**

(再開発事業、テナントリーシング、不動産ソリューションの提案)



エンジニアリング

- **有望分野への経営資源の集約、収益力強化**
(医薬品、食品、電子関連、情報、環境、土壌汚染対策等)

エネルギー

- **太陽光発電事業など再生可能エネルギー事業への取組み**
- **国内外の原子力関連分野の動向を踏まえた貢献**



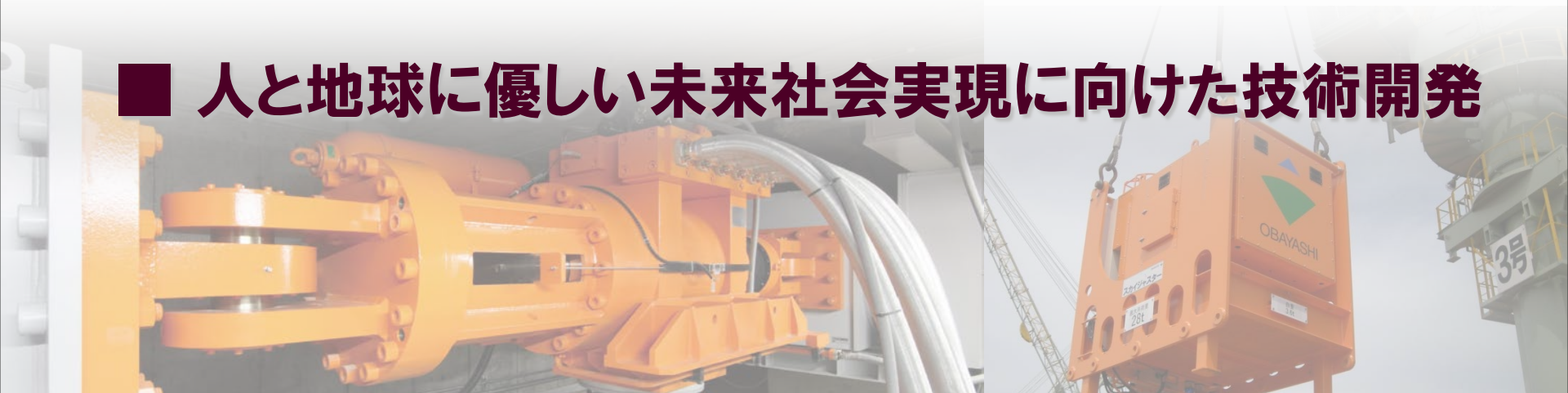
ビジネス・イノベーション

- **環境関連ビジネスの推進、展開**
- **技術を中心とした新たな収益源の創造**
- **業務提携、M & A等を活用した新しい形態による事業展開**
- **PPP／PFI方式等による新たな収益スキームの展開**
(コンセッション事業等への取組み)

経営インフラ施策

技術

- 技術を核とした事業展開
- グローバル市場での競争力を強化するための、マーケット指向の技術開発
- 震災復興や災害対策に貢献する技術開発
- 人と地球に優しい未来社会実現に向けた技術開発



経営インフラ施策

ICT

- 投資対効果を追求したICT利活用の推進

人材育成

- 主体的に行動できる人材の育成
(グローバル展開に応じた人材の確保と育成)

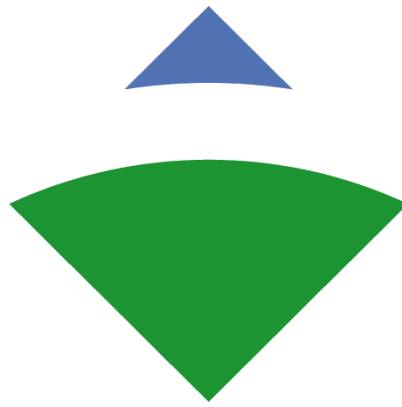
CSR・環境

- 大林組基本理念を念頭に置いた事業活動
- 地球環境保全への積極的な取組み
(Obayashi Green Vision 2050に基づくアクションプランの実施)

リスクマネジメント

- 危機管理体制、BCPの実効性の確保

地球に笑顔を



OBAYASHI

時をつくる ころで創る